

一緒にしましょう コミュニティづくりを!

中野ふくし倶楽部通信

「中野ふくし倶楽部」は、主に中野区に暮らす人々の福祉の向上と子どもたちの豊かな育ちに貢献することを目的としています。

NPO 法人 中野ふくし倶楽部
 発行責任者 田中芳樹
 中野区中央 4-53-7 YHNビル 101
 TEL 03-3384-5616
<http://www.nfcaozora.org/>

ひとつだけの命、かけがえのない人生を支えて 介護・子ども・教育の仕事に、今年もがんばります



新年あけましておめでとうございます。
 混迷する経済、戦争の足音、いじめや犯罪のニュースが目立つこのごろです。しかし、私たちは、誰もが持つひとつだけの命を大切に、一度しかない人生を尊重し、今年も明るく楽しくがんばっていきたいと思います。
 そんな思いから今号では、私たちが接している3人の方を訪問し、人生のひとこまを語って頂きました。

91歳! 畔上和枝さん 回想記を出版して



2001年から「あおぞら」の介護サービスを利用して頂いている畔上さん。要支援1で、週2回掃除を共に行き、一緒に買い物に出かける支援をしています。口腔に障害があるので、ゆっくりとお話するか、伝えたいことは筆談です。

大正14年生まれの91歳。14年前にご主人を亡くされてからはひとり暮らしです。ご主人と行かれた海外旅行はロシア、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、中国とのこと。

3人の子どもさんはそれぞれ独立され、次女さんは東京都議会議員として、築地市場やオリンピックの問題で活躍中。一番の楽しみは、日曜日ごとに息子さんが映画やお芝居、美術鑑賞などに連れて行ってくれることです。

昨年11月、回想記「満州の青春、我が短歌の歩み」を出版、お友達に贈呈し次々とお手紙が届き、対応にお忙しそうです。

「土曜午後のおしゃべりカフェ」にも毎回参加され、みんなの話を聴いていました。ご自分の順番になると、一生懸命お話と筆談を交えて伝えられていました。

残念ながら「ダイルームあおぞら」の閉鎖と共に、おしゃべりカフェは消滅し、楽しみにされていた居場所をクローズさせてしまったことは残念なことでした。

ご自身の短歌の中から2首を選んでいただきました。

わが庭にほとけのざありて摘み混ぜて
 七草がゆはおひとりさまなり

車椅子押しつつ来たる野の道に
 野菊みれば手折りて夫へ

20歳! 甲賀みすずさん 通うのがとっても楽しい!

年末のある日、今年 20 歳を迎えるみすずちゃんとお母様を訪ねました。「あおぞら」とみすずちゃんとのお付き合いは、小学校2年生の時からです。

昨年夏、支援学校の同級生に呼びかけ、同窓会を開いたそうです。当時の先生が来て下さり、学校と同じように授業が展開され、みんないきいきと1日を楽しんだそうです。

Q. みすずちゃん今一番楽しいことは何?

A. いきなり、後ろを向いてホームカラオケの準備をし、歌い始めました。

(お母様のお話)「最近カラオケにはまっているようです。童謡などではなく、ナツメロ、今風の曲—私はわかりませんが—」お父様にもお付き合いできるようにレパートリーが広がってきているようです。

Q. 昨年、特別支援学校を卒業し、通い始めた「かみさぎこぶし園」の生活には慣れましたか?

A. ずっと歌い続け、体中から「楽しいよ!」

(お母様のお話)「月曜日から金曜日まで、午前・午後とプログラムがあり、クッキー作り、創作活動、音楽クラブ、グループ活動、フリープログラム、祭りの準備、散歩、カラオケ、料理作り等、自由時間も含め毎日が充実していて、とても羨ましいくらいです!」

ご両親とも、視覚障害があり、仕事をしながら、4人の子育ては大変だったと思いますが、そんな様子は微塵も見えませんが、作業所、職場、生活介護施設から早い時間に帰って



↓次ページへ続く (入園式で、お母さま、みすずちゃん、先生)

お元気ですか？

理事長 大畑 きぬ代

賀正 本年もどうぞよろしくお祝い申し上げます。

何年も前からコンビニのレジでは多くの外国人が働いています。中野区で最も多いのはベトナム人で 900 人くらいだとか、全国的には中国、韓国、フィリピン、ブラジル、ベトナムと続くようです。日本は合計特殊出生率がころうじて 1.2 人、フランスのように 2.0 人に増える見込みはありません。今後は外国人の労働力を借りる機会が増えるでしょうが、排除だ、ヘイトだと私たち日本人はこまったものです。しかし時代は確実に”多文化共生”へ向かっています。

中央線大久保かいわいの保育園には、30 カ国をこす国籍の子どもたちが一緒に遊んでいるそうです。学習サロン「友・ゆう・YOU」にも中国やミャンマーの子どもたちがいました。先ずはお互いにリスペクト(尊敬)することが相互理解を進めます。

さて、私の周りにどれだけ国の友人知人がいるかと数えてみると、10 カ国に満たない。う〜ん、残念。今年は、日本という国にそれぞれの文化を持って来てくれる外国人たちと、楽しくワイワイがやがやとやる「多文化共生元年」にしようと思います。多くの文化の交差点で、民主主義は育つ、と思うこの頃です

きた時や、日曜・祝日などに、地域で安心して過ごせる居場所を提供する活動をしています。週1~2回、「ただいま」と帰ってこられる居場所づくりが始まり、様々なイベントを計画し、楽しんでいます。

同窓会で、「みすずちゃんの希望は？」という先生からの質問に、「皆さんと仲良くすることです。」とはっきり答えました。

お母様がみすずちゃんを語るときの、楽しそうな言葉に、あたたかい愛情に包まれて育ったことを実感しました。ほっこりした気持ちで訪問を終えました。

神の微笑み

あおぞらヘルパー 松井由起子さん

アイスランド感動体験6日間の旅

憧れのオーロラ鑑賞、今回は 5 泊 6 日アイスランドの旅に参加しました。アイスランドは、人口約 30 万人で面積は北海道と四国を合わせたくらいの大きさです。女性が活躍している国で、治安は大変良いところ。

まず驚いたのは、朝 10 時にホテル出発時、外は真っ暗。日の出は 11 時過ぎとのことでした。子どもたちは暗い中、保護者なしで登校するそうです。

さて、オーロラですが自然現象のため、天候・気象状態が合わないと観ることができません。今回は運悪く、神様は私たちに微笑んでくれず、又の機会を与えてくれたようです。オーロラはさておき、「ブルーラグーン」という世界で一番大きい温泉に入ったり、地球の割れ目「ギャウ」、「ストックル間欠泉」、「エイヤ・フィヤトル氷河」、迫力ある「グトル・セリヤラント・スコウガ滝」を見学したり、楽しい時間の過ごし方はいろいろありました。

最後にロンドンに立ち寄り、エリザベス女王の居城「ウィンザー城」を見学して、感動の旅はあっという間に終わりました。

チャイルドライン中野の活動

	着信数	うち話げできた
10月	235	56
11月	275	59
12月	159	46

クリスマスイブの夜、新年7日も、電話本数は極端に少なく、子どもたちはハッピーなのだ、と思うことにしました。でも学校が始まってみれば「高校2年で運動能力が低いばかりにいじめにあっている」という訴えに、しゅんとしています。

チャイルドライン中野講演会

貧困の連鎖 子ども施策への提言

湯浅 誠氏(社会活動家・法政大学教授)

3月1日(水)午後6時30分~ 中野サンプラザ 8階 1号研修室にて

中野ふくし倶楽部 連続講座

アベノミクスの煙霧をはらえば

相沢 幸悦氏(一見えてくる日本経済の展望一 埼玉学園大学教授)

3月13日(月)午後6時30分~ 桃園区民活動センターにて

子どもの居場所 友・ゆう・YOU

塾には行っていないけど、都立高校に合格したい そんな願いをサポートします

連絡先: 080-3919-0489(大畑)

6 畳間に子ども 6 人スタッフ 3 人のギューギュー詰めサロンです。中野駅南口五差路にできた東京都生協連 4 階サロン「えんがわ」を、月 1 回お借りすることになりました。4 階で働いている方から、「集中している。カレーのいい匂い！」とおほめ頂きました。

中野ふくし倶楽部日誌

10月26日	第5回理事会
11月27日	第6回理事会
11月29日	あおぞらスキルアップ研修
12月14日	あおぞらスキルアップ研修
12月16日	ジャズ&ディナー2016
12月25日	第7回理事会
1月20日	あおぞら新年会
1月23日	第8回理事会